

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
15108002	解毒・排出器官としての消化管—食品因子によるその制御機構の分子基盤解析	清水 誠（東京大学・大学院農学生命科学研究科・教授）	A
<p>食品成分の腸管における異物代謝・排出への関与を、第一相酵素系、第二相酵素系、トランスポーターに着目し、酵素活性レベル、分子レベル、遺伝子発現調節レベルでの観点から、評価系を構築して解明している。食品成分の機能評価に新たな視点を導入したもので、食品研究に新たな領域を開いたものとして、学術的に高く評価できる。関連分野への波及効果も大きいと期待される。</p> <p>中間評価で指摘されていた動物を用いた個体レベルでの研究への取り組みも積極的に進めて、成果を挙げていると見受けられる。早期に論文発表されることを期待する。</p>			